

図書だより

平成31年1月17日
秋田県立視覚支援学校
図書委員会発行
No.8



亥年(いとし)、本年もよろしくお祈いします！

2019年、^{いとし}亥年がスタートしました。今年も、図書委員一同、皆様の知的な好奇心(?)を刺激していけるよう頑張りますので、どうぞよろしくお祈いいたします。

^{とし}年の初めにあたり、校長先生に、新年の俳句と短歌を紹介していただきました！

初春の祈り

校長 鈴木修一

^{はつ}初日記めくれば風と波起こる

昭和の終わり、俳句を始めた頃の作品で、鹿角市大湯温泉の俳句会でほめられて、その気になった記憶があります。まっさらの日記を本のようにぱらぱらめくると、マス目が波打ちかすかな風が起こります。「波風を立てないように」と「家内安全」を祈るべき新年に、それを^{さかて}逆手に取って書いた俳句で、恐れを知らぬ若さが光ります(冷や汗…)。

初富士へわれ今ここに^あ在りと謝す

年齢を×2倍にした頃の作。江ノ島越しに見た日本人の心の山。「思えば遠くへきたもんだ」の思いを胸に、深く息をして富士山の尊い姿を望んだことでした。

犬の尾の巻き目きりりと^{さんが}初山河

のど鳴らし^{しふく}至福の猫よ^{こぞことし}去年今年

秋田犬ブームで犬好きの私も盛り上がっていたところ、我が家の^{のき}軒先へ子ネコが届けられ、^{てのひら}掌を返すように猫好きに。きりりと過ごすはずだった一年が、子ネコと出会ったことで方針変更。まったりする幸せを味わった後半戦でした。

^{あらた}新しき年の初めの初春の今日降る雪の^{よごと}いやしけ吉事

『万葉集』を締めくくる編者^{おおとものやかもち}大伴家持の歌。

「このめでたい日に降りしきる雪のようにますます重なれ^よ佳いことが」強い願いの陰には、家持自身の^{ふくう}不遇が^{ひそ}潜んでいるとも言われ、願い、祈ることで苦難を乗り越えてきた日本人の心の姿を、この和歌に見て取ることができます。我々も、強く願うところから生まれる力を信じ、さあ一年のスタートです。

国語合同授業で第2回ビブリアバトル！



国語科では、12月12日の合同授業で、「第2回ビブリアバトル」を行いました。今回は、高等部普通科1、3年生のほかに、中学部2年生も参加してくれました。



発表では、「作品を読み込んで、独自の世界まで深める。気持ちを込めて声のトーンを変えて話す。物語がイメージできるよう音楽をかけながら話す。おすすめポイントをわかりやすく発表する」など、それぞれ様々な工夫がみられました。

今回のチャンプ本は、T.Mさんが紹介してくれた「不思議の国のアリス」(CD版)でした。紹介されたものは、図書室にありますので、ぜひご覧ください！

ビブリアバトルで紹介された本・CD (★はチャンプ本)

- 「枕草子」 まくらのそうし 清少納言 せいしょうなごん
- 「ふたり」 ふくだ たかひろ 福田 隆浩
- ★ 「不思議の国のアリス」 ルイス・キャロル (CD版)
- 「ぼくたちはいつまでも」 せきや 関谷 ただし



「本の福袋」って？



★新年、新聞を開いて、すてきなコラムを発見！一部を紹介します。

「・・・最近には図書館で、福袋を用意するところが増えているようだ。表紙が見えないように包装し、未知の本との出会いを誘う。始めて10年目となるのが兵庫県宝塚市の西図書館だ。子どもたちに向けて約130の包みを作り、新年最初の開館日に並べる。(中略)

本の福袋を発案した司書の野村京子さんは言う。子どものうちに、いろんな世界を見てほしいのだと。

考えてみれば、子どもにとって本との出会いは、いつも福袋のようなものだ。たまたま家にあった本、学級文庫にあった本、友だちが貸してくれた本。何が出てくるか、どんな豊かさを与えてくれるのか、開いてみるまで分からない。

偶然の出会いの面白さは、大人の読書も同じだろう。その場所は近所の図書館かもしれないし、旅先の書店かもしれない。今年にはどんな本にめぐりあえるだろう。」

★本校図書室がすてきな本との出会いを生む、「福袋のような存在」であつたらうれしいなと思います。